

障害者4団体が 県に見直し要望

「七沢ホーム」定員削減

県が障害者自立支援法に基づき、厚木市七沢の障害者支援施設「七沢更生ホーム」の定員削減（地域生活への移行）を進めている問題で、F・L・C (Friendly Life Community、金子寿会長) や神奈川頸髄損傷者連絡会（星野太志会長）など四つの障害者団体が10日、見直しを求める要望書を県に提出した。

七沢更生ホームは県総合リハビリテーションセンターに

あり、入所や通所で障害者の自立支援や就労支援をしている。県は障害者自立支援法に基づく第2期障害福祉計画で、05年度段階の県内全域での施設入所者数の14%を11年度までに地域に戻す目標を設定。七沢でも三つの施設で07年度に計150だった入所定員を昨年度120に、来年度はさらに70に減らす予定だ。

障害者団体は10日、「利用実績から少なくとも90人分が必要だ」と要請。これに対し県保健福祉部の吉川伸治部長らは「地域移行の過程で問題が起きた人をショートステイなどで再び支援することも考えている」と理解を求めた。